

EcoLIFE, EcocITY, OKAZAKI

平成20年度版

岡崎市 環境白書

概要版



自然とふれあい、魅力的な自由時間をすごせる

環境共生都市をめざして

県道岡崎環状線ボランティア清掃

ボイ捨てが多い県道岡崎環状線について、沿線12学区の皆様の協力により年2回ボランティア清掃を実施しました。

【平成19年度】

実施日	6/24	10/28
参加人数(人)	1,976	1,522
回収量計(kg)	1,330	870



新一般廃棄物中間処理施設(ごみ処理施設)建設事業

八帖クリーンセンター(2号炉)及び中央クリーンセンター(2号炉)に代わる施設として、平成23年度完成を目指し新施設建設の計画を推進しています。

- 事業場所:岡崎市板田町字西流石地内
- 敷地面積:約7.8ヘクタール
- 処理方式:ガス化溶融施設(シャフト炉式)
- 施設規模:380t/日(190t/日×2炉)
- 処理対象ごみ:可燃ごみ、破碎残さ、焼却灰
- 運転計画:1日24時間の連続運転
- エネルギー利用:発電を中心とした余熱利用
- 煙突の高さ:59m

総合検査センター 夏休み子ども教室

夏休み期間中に市内の小学校4～6年生を対象として、環境問題に関する意識の高揚を図るための学習教室を開催しています。

【平成19年度】

開催日	コース名	参加者
7/24	そらコース	25人
7/27	みずコース	25人
7/31	せんいコース	17人



中央クリーンセンター リサイクルの日

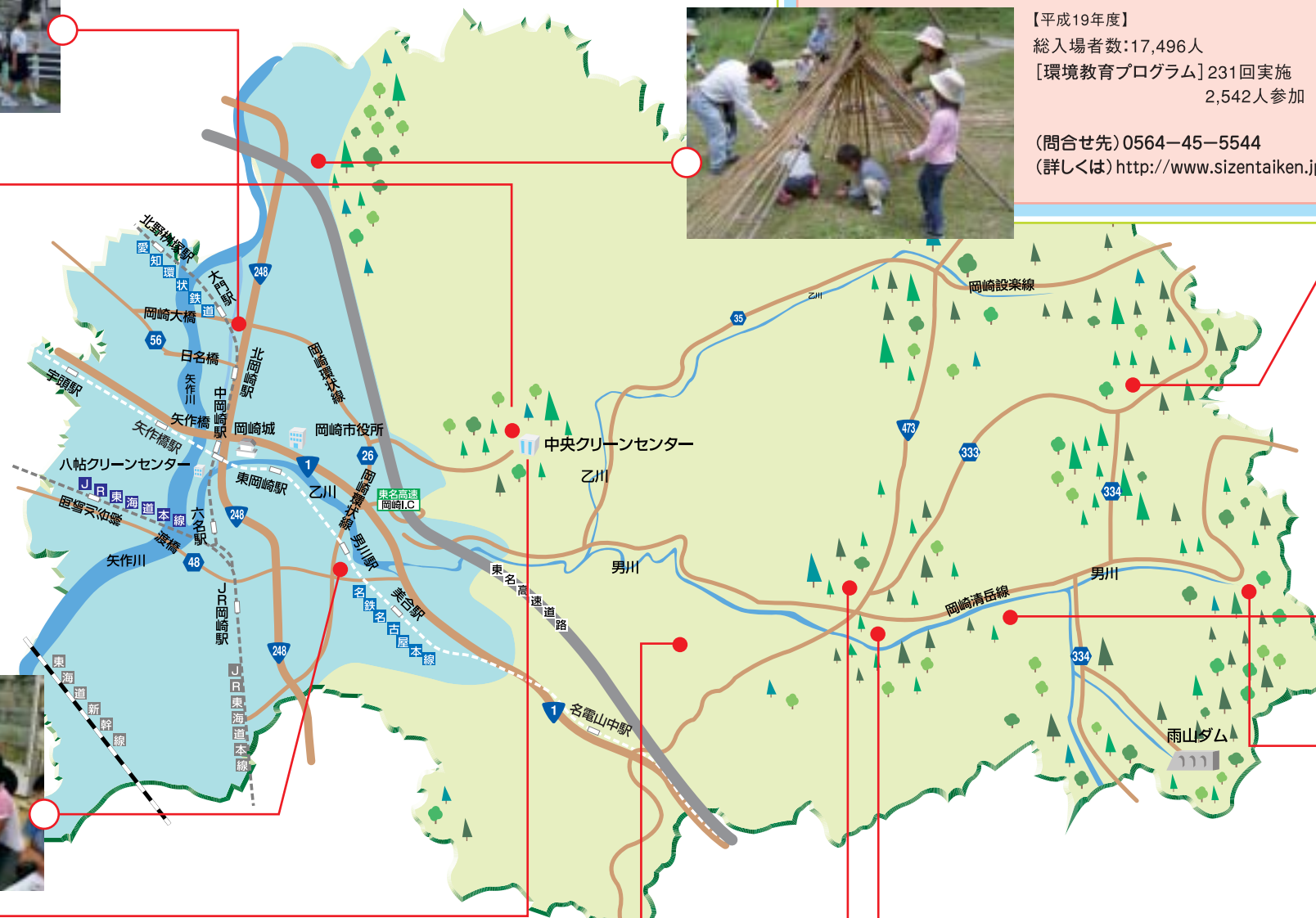
ごみ減量とリサイクルを推進するために、中央クリーンセンターのリサイクルプラザにおいて、資源物のリサイクル、家具・自転車の再生品の展示販売、廃ガラスを利用するガラス工芸講座などを行い、毎月第4日曜日を「リサイクルの日」として、施設を一般開放しています。

【平成19年度】

入場者数	2,971人
サンドプラスト利用者	665人
吹きガラス利用者	38人
再生家具販売数(応募総数 1,972件)	238点
再生自転車販売数(応募総数 1,623件)	180点

自然とふれあい、魅力的な自由時間をすごせる

環境共生都市・岡崎



おがさき自然体験の森(ハツ木町)

里山の自然環境の中で、様々な自然体験・環境学習プログラムを用意しています。



【平成19年度】

総入場者数:17,496人
[環境教育プログラム] 231回実施
2,542人参加

(問合せ先) 0564-45-5544
(詳しくは) <http://www.sizentaiken.jp/>

茅葺の里(千万町町)

山奥の茅葺民家の囲炉裏や縁側でのんびり。そば打ちや田植えなど田舎暮らし体験が満喫できます。宿泊もできます。(要予約)



【平成19年度の主な実績】
[田舎暮らし体験]
9回開催 922人参加

(問合せ先) 0564-83-2590

(仮称)わんPark整備事業(淡路町)

「水とみどりの森の駅」の新しい駅となり、伸び伸びと自然遊びを体験できる(仮称)わんParkの工事が始まりました。この施設は、額田支所の4km東、淡路町の男川が大きく湾曲した南側の高台約4.6ヘクタールに計画しています。子どもたちが伸び伸びと安心して自然遊びができる場所、遊びの自然体験から環境教育へつなげる場所として整備していくものです。



【施設概要】
原っぱゾーン
冒険の森ゾーン
昆虫の森ゾーン
実りの森ゾーン
センター施設ゾーン

(問合せ先)
自然共生課 電話0564-23-6921

くらがり溪谷(石原町)

男川の源流になる清流で、ハイキングやマス釣り、バーベキュー、自然観察など多彩なアウトドアライフが思う存分楽しめます。



【平成19年度の主な実績】
[自然観察会]
10回開催 109人参加

(問合せ先) 0564-83-2057

森の総合駅(榎山町)

森の駅のすべてを知ることができる「森の駅」の総合案内所。「森のギャラリー」では自然にかかわるアートなどを展示します。



(問合せ先) 0564-82-2511
(詳しくは) <http://www.morinoeki.jp/>

おおだの森(榎山町・夏山町)

市民の手で、おおだ山にヤマザクラやモミジの植栽をしたり、森の手入れをしたり。自然散策や山頂からの展望も楽しめます。

【平成19年度の主な実績】
[初日の出を見る会]
200人参加

(問合せ先) 0564-23-6921



北山湿地

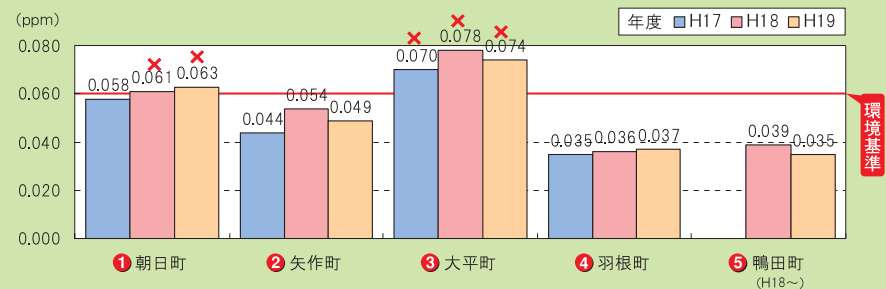
市の中南部にある北山湿地は古くから残る自然湿地です。特有の植物や昆虫が生育・生息しており、環境省の「日本の重要湿地500」に選ばれています。この湿地を自然遺産として後世に残すとともに、市民の自然とのふれあいの場として整備するために、市民団体と協力して、定期的な保全活動を行っています。



【平成19年度】
一般市民による保全整備:11回実施
観察会:3回実施 78人参加

大気汚染の現状

■大気汚染常時測定調査結果(二酸化窒素)



環境基準……98%値が0.06ppm以下。

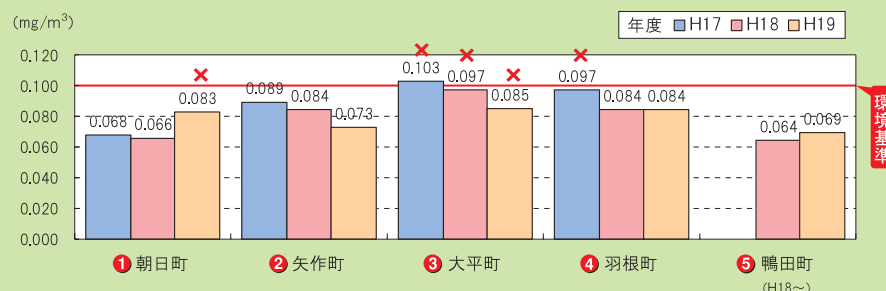
×の数値については、環境基準が達成されなかったことを示します。

二酸化窒素……主に自動車や工場の排気ガスに含まれています。

ppm……100万分中のいくつであるかを表す分率で、ごく微量の物質の濃度や含有率を表すのに使われます。大気汚染では1m³の大気中に1cm³の物質が含まれる状態を表します。(parts per million)

98%値……年間における1日平均値のうち、低い方から98%に相当する値です。

■大気汚染常時測定調査結果(浮遊粒子状物質)



環境基準……2%除外値が0.10mg/m³以下、ただし1日平均値が0.10mg/m³を超えた日が2日以上連続しないこと。

×の数値については、環境基準が達成されなかったことを示します。

浮遊粒子状物質……大気中に浮遊している物質のうち、粒径10ミクロン(100分の1ミリ)以下のものをいいます。

2%除外値……年間にわたる1日平均値である測定値につき、測定値に高いほうから2%の範囲内にあるものを除外した値です。

岡崎市の環境の状況



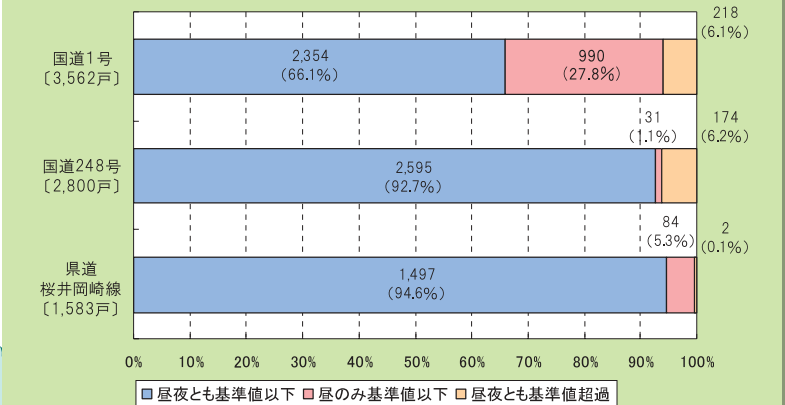
1 朝日町(朝日大気測定局)	9 山綱町(東部市民センター)
2 矢作町(矢作大気測定局)	10 乙川 岡崎市上水道取入口
3 大平町(大平大気測定局)	11 乙川 占部用水取入口
4 羽根町(羽根大気測定局)	12 男川 学校橋
5 鴨田町(鴨田大気測定局)	13 矢作川 美矢井橋
6 美合町(総合検査センター)	14 巴川 細川頭首工
7 岩津町(北部学校給食センター)	15 鹿乗川 東鹿乗川橋
8 羽根西新町(南部市民センター分館)	16 雨山川及び乙女川下流 ツノジ橋

自動車騒音の現状

■自動車騒音に係る環境基準の達成状況

〔平成19年度〕

道路を一定区間ごとに区切って評価区間を設定し、評価区間内の代表する1地点で騒音測定を行い、その結果を用いて評価区間内の道路端から50m範囲内にあるすべての住居等について等価騒音レベルの推計を行うことにより環境基準を達成する戸数とその割合を把握しています。このことを面的評価といいます。

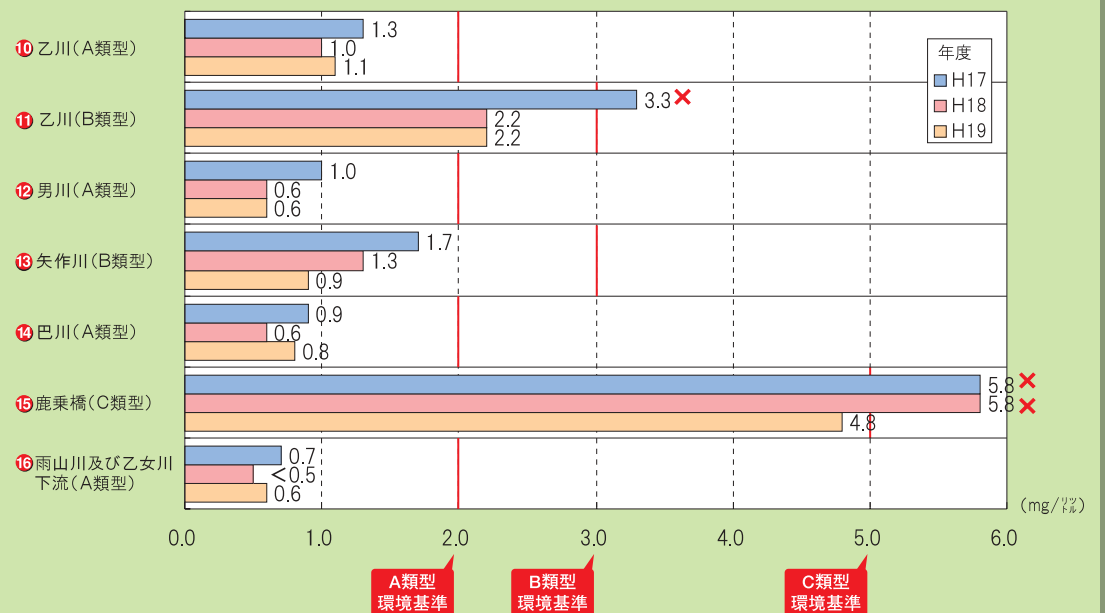


〔 〕内は評価対象住居等戸数

%の合計値は、四捨五入の関係で合わないことがあります。

河川の水質の現状

■類型指定河川調査結果(BOD75%値)



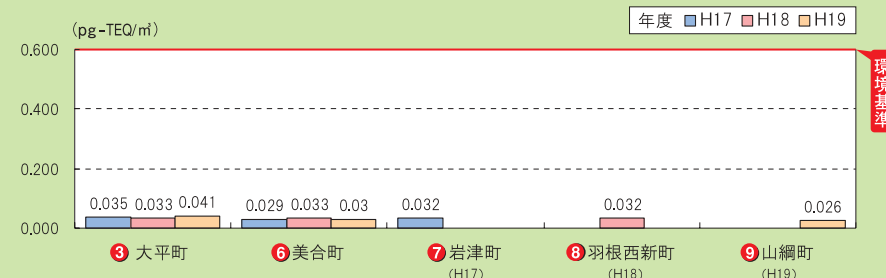
×の数値については、環境基準が達成されなかったことを示します。

類型指定……国において類型別に環境基準の基準値が示され、これに基づき県が河川等の状況等を勘案し、地域にあてはめて指定します。このことを類型指定といい、AA、A、B、C、D、Eの6段階の類型があります。

BOD75%値……BODとは、水中の汚れ度合いを示す指標で、水中の有機物が一定期間、一定温度で、微生物によって酸化分解されるときに消費される酸素量のことです。この数値が大きいくほど、水質が汚濁していることを意味します。75%値とは、年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べて75%目にあたる値を75%水質値といいます。年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合に75%水質値を用います。

ダイオキシン類調査結果

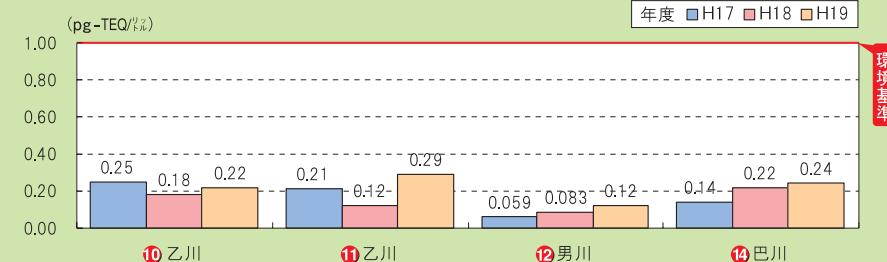
■大気環境調査結果



ダイオキシン類……ダイオキシン類対策特別措置法において、有機塩素化合物のポリ塩化ジベンゾ-p-ダイオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾ-f-ダイオキシン(PCDF)、コプラナーポリ塩化ビフェニル(Co-PCB)をダイオキシン類と定義しており、物の燃焼等の過程で非意図的に生成します。ダイオキシン類の毒性は、一般毒性、発がん性、生殖毒性、免疫毒性など多岐にわたっています。

pg-TEQ……pg(ピコグラム)とは、1兆分の1グラムを表しています。また、TEQとは、「毒性等量」と表現し、200以上存在するダイオキシン類について、それぞれの毒性の違いを同じ毒性に換算することをいい、その量を表す単位がpg-TEQです。

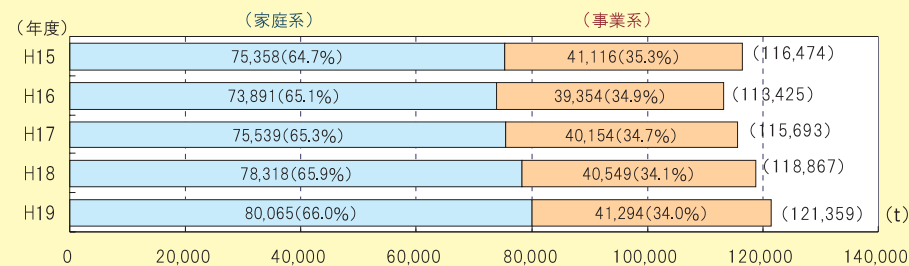
■水質環境調査結果



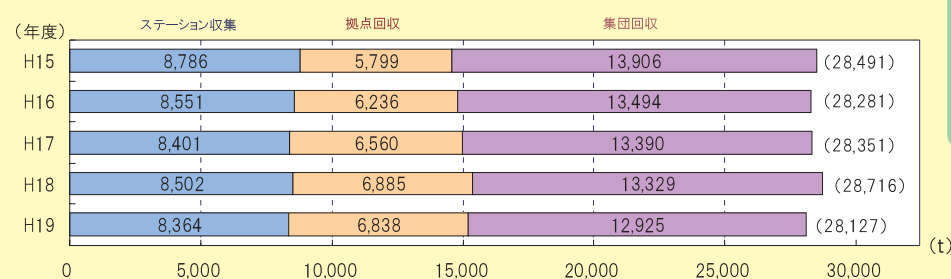
本市のごみ事情

本市では、増え続けるごみを減らすために、家庭系ごみの減量施策として、粗大ごみの有料戸別収集（平成13年4月～）、3分別（紙製容器包装・ペットボトル・プラスチック製容器包装）の分別収集（平成14年1月～）を実施しました。また、事業系ごみの減量施策として、古紙類の搬入規制（平成15年10月～）を行いました。
しかし、ごみの量は平成16年度以降わずかに増加しています。

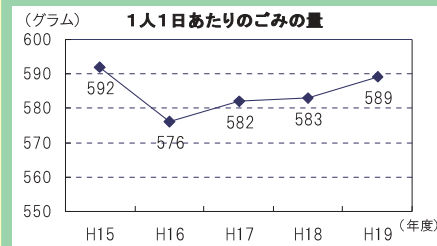
家庭系・事業系比較



収集形態別資源物量



【家庭から出たごみの量(平成19年度)】



【1人あたりのごみの量】
216kg
【1人1日あたりのごみの量】
589g

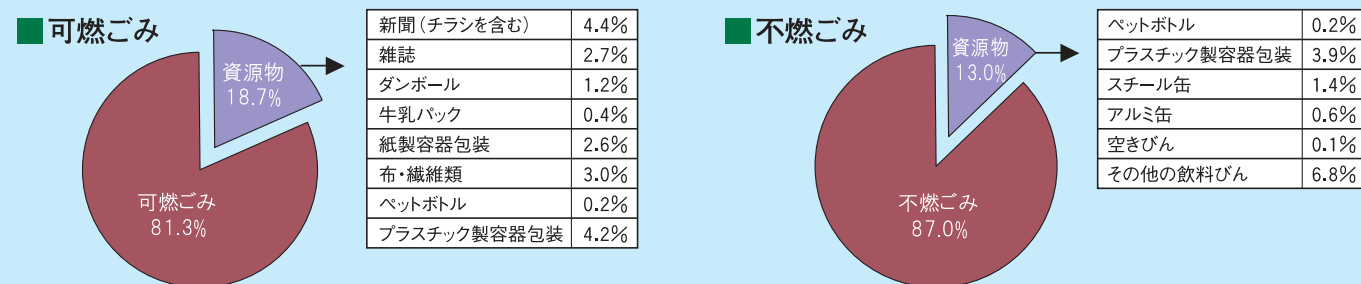
【1年間のごみの量】
80,065t
【1人1日あたりのごみの量】
219g

平成19年度の1人あたりのごみ処理負担額(資源等含む)は、**10,513円**
(ごみ処理に要する経常経費の予算額から積算)

平成19年度ごみ質分析結果

★ごみの中には資源になる物が多く含まれています★

家庭系ごみ質分析結果(ごみステーション分析結果)〔平成19年度〕



紙類 (8.7%)
資源になる紙類が多く混入されています。
新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック
地域の資源回収 市役所・支所・回収協力店等の 拠点回収へ

生ごみ (41.6%)
可燃ごみの約半分(41.6%)は生ごみです。生ごみを減量すれば可燃ごみの半分が減量できます。
●生ごみを出すときは、よく水を切ってから出しましょう。
●できるだけ生ごみを出さないように上手に料理をしましょう。
生ごみ処理機を使って 生ごみをリサイクルしましょう
本市では生ごみ処理機の購入に対して、最高2万円の補助金を出しています。

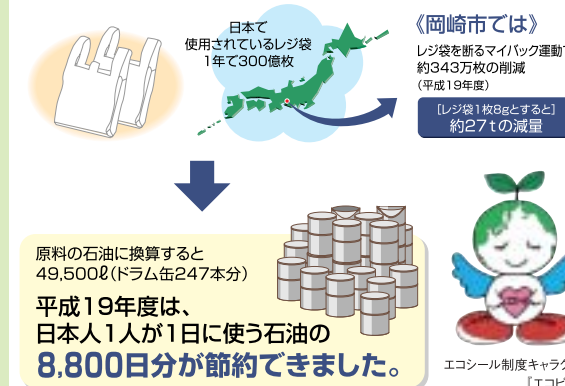
プラスチック類 (4.2%)
プラスチック製容器包装の混入が目立ちます。
上のグラフは重量比のため、ごみの中のプラスチックは4%前後と一見少なく見えますが、容積比にしてみるとプラスチック製容器包装は可燃ごみの10%を占めています。
きれいにできるものはプラスチック製容器包装として出しましょう
買い物袋を持参してレジ袋を断りましょう
協力加盟店で、レジ袋を断るとエコシールがもらえます。エコシールを集めると協力店で金券として使えたり、環境にやさしい製品と交換ができます。

エコシール制度

「エコシール制度」には、買い物袋を持参してレジ袋などを断る「エコグリーン行動」、ごみ拾い・草刈りなどの環境美化活動等や、市主催の環境に関する講演会等に参加する「エコボランティア行動」があります。これらの行動によって集めたエコシールは、枚数に応じて市役所・市内の支所で環境にやさしい物品と交換できます。また、協力加盟店ではシール20枚で100円として利用できます。

エコグリーン行動

【平成19年度】
エコシール発行枚数(エコグリーン行動)
3,428,905枚(前年度対比約28%増)



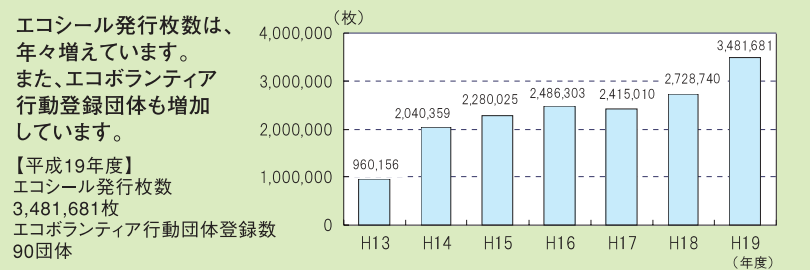
エコボランティア行動

【平成19年度】
エコシール発行枚数(エコボランティア行動)
52,776枚(前年度対比約19%増)

市民の8人に1人が、清掃活動等のボランティアに参加している計算になります。



ボランティア清掃に積極的に参加することによって、地域の環境美化に対する意識が向上し、きれいなまちを維持することは、ごみのポイ捨て抑制につながります。



エコボランティア行動団体を随時募集しています！
詳しくは、環境総務課総務班(電話0564-23-6401)まで。

環境教育・環境学習

地域における環境学習

地域住民、地域団体などを対象とした環境学習を実施しています。市職員や地球温暖化防止隊の会員が講師となり、参加体験型の学習の機会となるように工夫しています。



【平成19年度】
参加団体:延べ20団体・1事業所
参加者:延べ836人

おかざきエコプロジェクト

地域の自然を大切にする心や環境を守るために行動する力を育むことを目的とした、幼児の環境教育プログラム「おかざきエコプロジェクト」を実施し、幼稚園・保育園の環境学習を積極的にお手伝いしています。



【平成19年度】
59回実施:1,499人参加

小中学校における環境教室

小中学校における環境教育をより効果的に進めるために実施しています。

平成19年度からは「エコマンダーの時間」コースを新たに設定しました。



【平成19年度】
56回実施:3,578人参加

未来環境創造戦士エコマンダー

これからの世代を担う子どもたちが環境に興味を持ち、環境教育に大切な"気づき"などのきっかけづくりするために誕生した、岡崎市の環境を守るニューヒーローです。



【平成19年度】
「未来環境創造戦士エコマンダー」ショー:39回
おかざきエコプロジェクトへの出演:23回1,073人参加
小中学校環境教室「エコマンダーの時間」:14回879人参加

環境便利帳

● 環境に関する主な問い合わせ先を掲載しました。

環境総務課

総務班 ————— **電話0564-23-6401**

水と緑・歴史と文化のまちづくり条例
エコシール制度

環境管理班 ————— **電話0564-23-6685**

低公害車（ハイブリット自動車など）購入費補助
住宅用太陽光発電システム設置費補助
高効率給湯器設置費補助
小中学校、地域などでの環境学習
地球温暖化防止隊
地球温暖化対策

環境保全課

環境保全班 ————— **電話0564-23-6194**

公害等（大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下・
悪臭・化学物質など）
ストレーナー・三角コーナーの斡旋（生活排水対策）

環境美化班 ————— **電話0564-23-6110**

放置自動車の調査
空き地の適正管理
公共の場所の不法投棄・ポイ捨て

自然共生課

自然保護班 ————— **電話0564-23-6188**

北山湿地
こどもエコクラブ
野鳥を飼う時の許可

自然体験推進班 ————— **電話0564-23-6671**

おかげさ自然体験の森

森の駅推進班 ————— **電話0564-23-6921**

水とみどりの森の駅

廃棄物対策課

審査1班 ————— **電話0564-23-6871**

浄化槽設置補助
自動車リサイクル法

審査2班 ————— **電話0564-23-6876**

産業廃棄物（家屋解体ごみなど）処理業者への許可可

監視班 ————— **電話0564-23-6831**

廃棄物の処理に関する指導

ごみ対策課

ごみ減量班 ————— **電話0564-23-6530**

ごみの分別
生ごみ処理機設置の補助

リサイクル推進班 ————— **電話0564-23-6724**

資源回収・拠点回収
不用品情報交換
リサイクルの日（毎月第4日曜日）

施設班 ————— **電話0564-23-6263**

新一般廃棄物中間処理施設の整備

八帖クリーンセンター

管理班・業務班（共通） — **電話0564-22-5436**

し尿処理
一般廃棄物の中間処理

中央クリーンセンター

収集班・施設管理班（共通） **電話0564-22-1153**

一般廃棄物の収集運搬・中間処理
リサイクルプラザの管理
犬や猫が道路で死んでいた場合

埋立班 ————— **電話0564-27-7101**

北部一般廃棄物最終処分場の管理

粗大ごみ受付センター — **電話0564-22-2000**

粗大ごみの収集を依頼したい場合

発行日／平成20年10月発行

発行／岡崎市 企画編集／岡崎市環境部環境総務課環境管理班

〒444-8601 岡崎市十王町2丁目9番地

連絡先（代表）環境総務課／TEL (0564) 23-6685 FAX (0564) 23-6536

環境保全課／TEL (0564) 23-6194

自然共生課／TEL (0564) 23-6188

廃棄物対策課／TEL (0564) 23-6871

ごみ対策課／TEL (0564) 23-6502

URL <http://www.city.okazaki.aichi.jp/>

E-mail kankyo.kanri@city.okazaki.aichi.jp



未来環境創造戦士エコマンダー

自然とふれあい、魅力的な自由時間をすごせる
環境共生都市をめざして



平成12年7月25日 ISO 14001認証取得

店販/UV/フ配合率70%白色度70%と大豆インクを使用しています。